

## 平成27年度 奈良市環境教育推進会議の意見の概要

開催日時	平成28年2月1日（月）午後2時から4時まで
開催場所	奈良市保健所・教育総合センター 8階 中講座室8-1
意見等を求める内容等	(1) 奈良市環境学習プログラムについて (2) 地域における環境教育の推進について (3) その他
参加者	出席者 9名 事務局 4名
開催形態	公開（傍聴人 0名）
担当課	環境部 環境政策課

### 意見等の内容の取り纏め

#### ○開会

平成27年度 環境教育推進会議開催にあたり環境政策課長より挨拶があった。

事務局より、昨年度末に市の付属機関等の見直しが行われ、市の指針により今年度より本推進会議は懇談会として位置づけられたことが説明されたのち、環境審議会委員を兼務されている参加者から、座長の選任が行われた。

#### ○議題

##### (1) 環境学習プログラムについて

地域での環境教育の担い手として、環境に関する活動をしている人材40名を「環境教育推進員」として登録した。推進員には、各々の活動をベースにしたプログラムを作成してもらい、その一覧をホームページにて6月より公開している。また、チラシを作成し、公民館へ配布したところ、1件の申し込みが公民館よりあったものの、申し込みはその1件のみという状況である。しかしながら、多くの人材、多くのプログラムがあるため、環境教育推進員、環境学習プログラムの広報に力を入れていきたい。手法としては、ホームページ及びチラシの見直し、写真などを使って、各プログラムを詳しく紹介したパンフレット作成を検討している。

#### ≪説明に対する意見等≫

- ・はぐくみセンターなど多くの人を訪れる場所にも配布し、周知に努めてほしい。
- ・プログラム関連の活動の様子を写真で示すのは良いと思う。可能であれば、顔写真を掲載すれば、講師のイメージがしやすいのではないかと。
- ・今は分野別のプログラム紹介となっている。その他、講師別でのプログラム紹介、プログラムが対象にする年代、所要時間、費用等、見せ方の工夫はいくつかあるので、その点も検討して進めてほしい。
- ・環境学習プログラムの目的を明確にしておく必要がある。
- ・プログラムにキーワードを設定するのはどうか。

・プログラムを利用する側からの意見はどうか

→学校にとっては、授業でどのように活用するかが基準となる。それと合致するものがあれば利用することもあると思う。合致するものがあるか調べるには、やはりキーワードがあると調べやすいのではないか。

→地域での活動（放課後子ども教室など）でも、環境に関しての取り組みを実施しているところもあるが、その活動に対してプログラムを活用するにしても、どう探せばよいか、というのが実際にあると思う。こういうものがある、と提供できるものがあれば、ニーズは出てくると思う。

→公民館などで実施している講座への利用は、各館のスタッフが環境学習プログラムの存在を知れば、利用もあると思う。実際に公民館からの依頼もあったとのことなので。

→地域コーディネーターや各公民館スタッフが集まる場があるので、そういった場で周知してもらえれば。

・イベントや講義形式等、シーン別での使い方をアピールしてみてもどうか。

⇒ホームページ、チラシ、パンフなど各手段を活用し、様々な主体へ更なるアピールに取り組む。まずはチラシを見直し、プログラムの詳細を掲載したパンフレットも作成する。

(2) 地域における環境教育の推進について

(資料3)にある「(仮称)環境教育人材ネットワーク」の構築を目標に、その一歩として環境教育推進員を募集・登録、環境学習プログラムを公表したが、現状は先の議題で報告したとおりである。地域での環境教育推進については、地域と環境教育推進員をつなぐコーディネーターが必要である、との議論がこれまで出ており、コーディネーターを環境教育推進員の中から養成するのはどうか、という意見もあった。しかしながら、環境教育推進員がコーディネーターになって、いきなり地域に飛び込んでいけるのかということ、難しいのではないかと、この意見も出ていた。

プログラムを公開してからの現状を鑑みると、まずは現在提供しているプログラムの認知度を高めること、実施の実績を伸ばすことが先決である。環境教育の重要性が高まり、現状の体制ではニーズに追いつかない、という状況になれば、コーディネーターや環境教育推進員の養成、という段階になると考えており、そういう状況を作る必要がある。また、ネットワークの構築にはどうしても予算措置が必要になるが、そのためには予算措置が必要であるという状況が前提である。

そこで、まずはプログラムの認知度を高め、実績を積み上げるためにも、プログラムの活用について既存の地域教育協議会の協力を得たい、と考えている。地域で環境に関する催し等をしたい、またはどのような活動をしていくか考えたい、という声があった際は、環境教育推進員や環境学習プログラムを活用してもらえれば、と考えている。

《説明に対する意見等》

・プログラムの利用促進に向け、会議に出席している関係課も協力して地域コーディネーターや公民館スタッフに周知してほしい。環境政策課としても、説明会や会議の場に出向いて積極的に

広報してはどうか。

- ・環境政策課の事業として環境講座を開き、環境教育推進員に講師を依頼する手段もある。たとえば、公民館で環境講座を開き、地域の人と繋がることができれば。

- ・環境教育推進員同士の交流会も必要。以前実施する旨の話もあったが、現状実施できていない。ぜひ機会を設けてほしい。そういった場が、人材ネットワークの足掛かりにつながると思う。

- ・人材ネットワークが形になった際の話であるが、その運営を担うことのできるものがあるか、となると、現状では相当難しいと思う。

- ・8年前に取り組みをスタートした地域教育協議会は、県などが主催しているコーディネーター養成講座への参加等、経験、勉強を積み重ねて、講師ができるレベルまで達した方もいる。

- ・地域の課題等を吸い上げるには、地域教育協議会のコーディネーターと、環境教育に関するコーディネーターが繋がる形になればよいのではないだろうか。

### (3) その他

その他の案件として、平成28年度に予定されている奈良市環境基本計画（改訂版）中間見直し及び奈良市地球温暖化対策地域実行計画の改訂について事務所から報告した。基本的には、環境基本計画推進会議で検討する案件となるが、基本計画のうち、環境教育に関する部分については、環境教育推進会議にも協力をお願いしたい。

#### 《説明に対する意見等》

- ・見直しに関連した、環境教育推進会議のスケジュールはあるのか。

→基本計画推進会議での進捗に併せて、環境教育推進会議を開く形になる。6月頃から8月頃の開催を予定している。環境基本計画推進会議で見直し作業を進めていくに際し、環境教育推進会議での意見も活かしていきたい。